

令和7年度 高志ライフケアホーム地域連携推進会議 議事録

1 日 時

令和7年10月23日（木）14時00分～15時30分

2 場 所

高志ライフケアホーム

3 出席者

- ・ 高志ライフケアホーム自治会 代表
- ・ 高志ライフケアホーム家族会 代表
- ・ 針原地区社会福祉協議会 会長
- ・ 針原地域包括支援センター 管理者
- ・ 社会福祉法人ルンビニ園 理事長
- ・ 富山市障害福祉課
- ・ 高志ライフケアホーム 所長、所長代理、支援長、係長

4 議 事

（1）開会・挨拶

- ・ 所長より開会の挨拶があり、地域連携推進会議の趣旨・目的について説明があった。
- ・ 事務担当より、本日の進行、個人情報保護、議事録作成について説明があった。

（2）出席者紹介

- ・ 事務担当より出席者の紹介が行われた。

（3）事業内容説明

- ・ 所長代理より、資料に基づき以下のとおり説明があった。

① 施設・サービス概要

- ・ 沿革、サービス概要、日中活動、職員配置状況等について説明。

② 利用状況

- ・ 利用者の障害種別、年齢層、利用期間等について説明。

③ 運営状況

- ・ 利用者参加の会議、職員会議、各種委員会、施設行事、クラブ活動、健康管理等について説明。

④ 利用者の権利擁護

- ・ 事故報告・ヒヤリハット報告、苦情対応、虐待・身体拘束事案、成年後見制度の活用等について説明。

（4）意見交換

○質問：作業療法士・言語聴覚士はいるのに、理学療法士がいない理由は。

回答：以前は病院兼務の理学療法士がいたが、病院業務多忙により来所が困難となった。施設独自での採用の必要性を感じている。

○質問：委員会の数が多く、職員の負担は問題になっていないか。

回答：委員会数は以前より減らしたが、職員が複数委員会を兼務している状況。負担軽減のため委員会の整理を検討したい。

○質問：虐待防止の取り組みはどうしているか。

回答：令和6年度は虐待防止マニュアルを配付し周知を図るとともに、セルフチェックやロールプレイ研修を定期的の実施している。

○質問：月1回の利用者との意見交換会の内容は。

回答：月初めに各居室で少人数で実施し、職員が月の予定を説明。利用者から食事・生活環境等の要望や意見を聞いている。

○質問：個別支援計画の説明方法は。

回答：家族にもモニタリングを行い意向確認している。計画書は利用者・家族同席のもと説明し、署名をいただいている。

○質問：地区文化祭（11月16日）への作品出展について。

回答：多くの人に見てもらえることは利用者の励みになるため、前向きに検討したい。

○質問：「社会見学」はどのように実施しているか。

回答：1日コース（今年はファボーレ富山）と半日コース（アピタ富山東）があり、利用者の希望と体調を踏まえて決定。1回2～3名の少人数で、利用者1名に職員1名が付き添い、買い物や飲食を行っている。

○質問：高齢利用者の介護施設への移行は難しいのか。また移行割合は。

回答：年齢ではなく医療的ケアの必要性で判断している。高齢のみを理由とした移行はほとんどなく、多くの利用者が継続利用を希望している。

○質問：地域連携推進会議の位置付けと今後の進め方は。

回答：地域の皆様に施設を知っていただき、様々な活動を通して地域との連携強化を図りたい。

○質問：施設でのボランティア活用はどうか。

回答：コロナ以前はシーツ交換やクラブ活動等で受け入れていたが、コロナ以降は再開が難しい状況。新規ボランティア募集の方法が課題となっている。

○質問：広報誌は作成しているか。自施設では、地域に施設の活動を知ってもらうためチラシを作成し配布したところ、地域行事への参加等の提案を受けた。

回答：広報誌は作成していない。取り組みを参考にしたい。

（５）閉会

・ 所長より、いただいた意見を今後の事業運営に活かしていきたい旨の挨拶があり、閉会した。